

観光社会資本の事例

テーマ	高千穂峡に架かる三代橋
【施設の状況写真】	
	
高千穂峡を跨ぐ三代橋。高千穂峡を訪れた観光客の撮影スポットになっている。	神都高千穂大橋からの溪谷美。橋面からの高さは100m以上。
【施設の利用写真】	
	
三代橋をバックに記念写真を撮影する観光客。	神都高千穂大橋から、高千穂峡の眺めを楽しむ観光客。付近に道の駅が設置されている。
【観光資源としての利用状況】 一般国道218号高千穂バイパスは、市街中心部の交通混雑の解消に大きく貢献しました。また、神都高千穂大橋の完成により、高千穂峡には、神橋(大正時代:石の橋)、高千穂大橋(昭和30年竣工:鋼の橋)、神都高千穂大橋(平成15年竣工:コンクリートの橋)とそれぞれ異なる世代・材料で建造された三つの橋が架かり、「三代橋」として親しまれています。この三代橋は、年間100万人以上の観光客が訪れる高千穂峡の観光スポットの一つとして、多くの観光客が記念撮影を行うなど大変評判となっています。また、神都高千穂大橋から五ヶ瀬川の水面までの高さは100m以上あり、橋の上から高千穂峡を見下ろす景色も絶景となっています。	

テーマ	高千穂峡に架かる三代橋
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>○名称 一般国道218号高千穂バイパス(神都高千穂大橋 (橋長 L=300m))</p> <p>○所在地 宮崎県高千穂町</p> <p>○事業名 道路改築事業</p> <p>○事業主体 国土交通省</p> <p>○事業期間 平成9年～平成15年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>熊本市と延岡市を結ぶ唯一の幹線道路である一般国道218号は観光交通と日常活動の交通が相まって著しい交通混雑を招いていましたが、一般国道218号高千穂バイパスの全線開通により、市街中心部の交通混雑が解消され、安全でスムーズな交通が確保されました。</p> <p>また、同バイパスにおいて高千穂峡をまたぐ「新都高千穂大橋」は、既存の「高千穂大橋」「神橋」とあわせて「三代橋」と呼ばれ地域の観光資源として多くの観光客が訪れています。</p>	
<p>【位置図】</p>	
<p>【関連ホームページ】 高千穂町観光協会 http://www.takachiho-kanko.jp/</p>	

